

所在地：目黒区八雲 3 - 13 - 21 東急東横線・東急大井町線 自由が丘駅 徒歩 15 分

学校名： 宮前小学校		作成年月日： H.10.07.13	調査日： H.16.07/16.7/23
施設タイプ		地上シート型	
環境概況	植 物	・水際にはチゴザサが昨年以上の範囲を覆って繁茂し、コガマ、クサヨシ、サンカクイが点在して生育している。水面はほとんど覆われ、トンボが水面を確認できる状況ではない。	
	動 物	・水中を注視すると多くのメダカがあり、植物にはヤゴの脱け殻が確認できた。 ・シオカラトンボ、アオイトトンボを確認。	
	水 質	・透明度があり、水質は良好である。 ・給水は、主事の方が行っている。	
	周 辺 環 境	・池周囲は、チゴザサが広範囲に繁茂して陸域と連続しているが、柵の外側は除草されている部分が多くなっている。 ・南側の樹木（ウメ、ザクロなど）は適度に剪定され、池が日陰になる心配はない。	
	土 壌	・周辺の土手部分は土の補充を行ったため、シートの露出は見られず、植物の生育も良好である。	
活動状況	管理 体制	・今年度は草取り作業が行われていないが、今後4年生による作業予定があり、観察活動を伴った利用が望まれる。	
	管理 状況	・昨年度、一昨年度に草取り、泥上げ作業を行ったが、行わない今年度は草本の繁茂により水面が観察できない状況になっている。	
	利用 状況	・総合学習などで利用は行われているが、定期的な児童による利用・管理は行われていない。	
今後の予定・計画		・今年度は、総合学習の一環の中で、10月に4年生が草取りを実施する予定になっている。	

作成後の主な活動経過

年月日	活動内容	参加形態
H. 10.07.13	池の作成	4年生（総合学習）
11～12	授業の中で活用してきた	全学年
13.10.18	ビオトープ再生のための勉強会	4年生
.10.26	泥上げ、草取り作業による環境再生	4年生
14.10.08	ビオトープ活用のための勉強会	4年生
.10.30	草取り作業による環境再生	4年生
15.	作業の予定はない	
16.10	草取り作業の予定	4年生（総合学習で）

調査時(平成15年6月)



チゴザサの繁茂はあるが、水面が確保されている。



橋の東側は、草取りが不十分であるため、水面の確保されている面積の割合が低い。

調査時(平成16年7月上旬)



外周部に自然木の枝によって柵が設置され、自由に入れられないようになっている。



今年度は草取り作業が行われておらず、クサヨシ、チゴザサの繁茂により、水面はほとんど確認できない。

調査時(平成16年7月下旬)

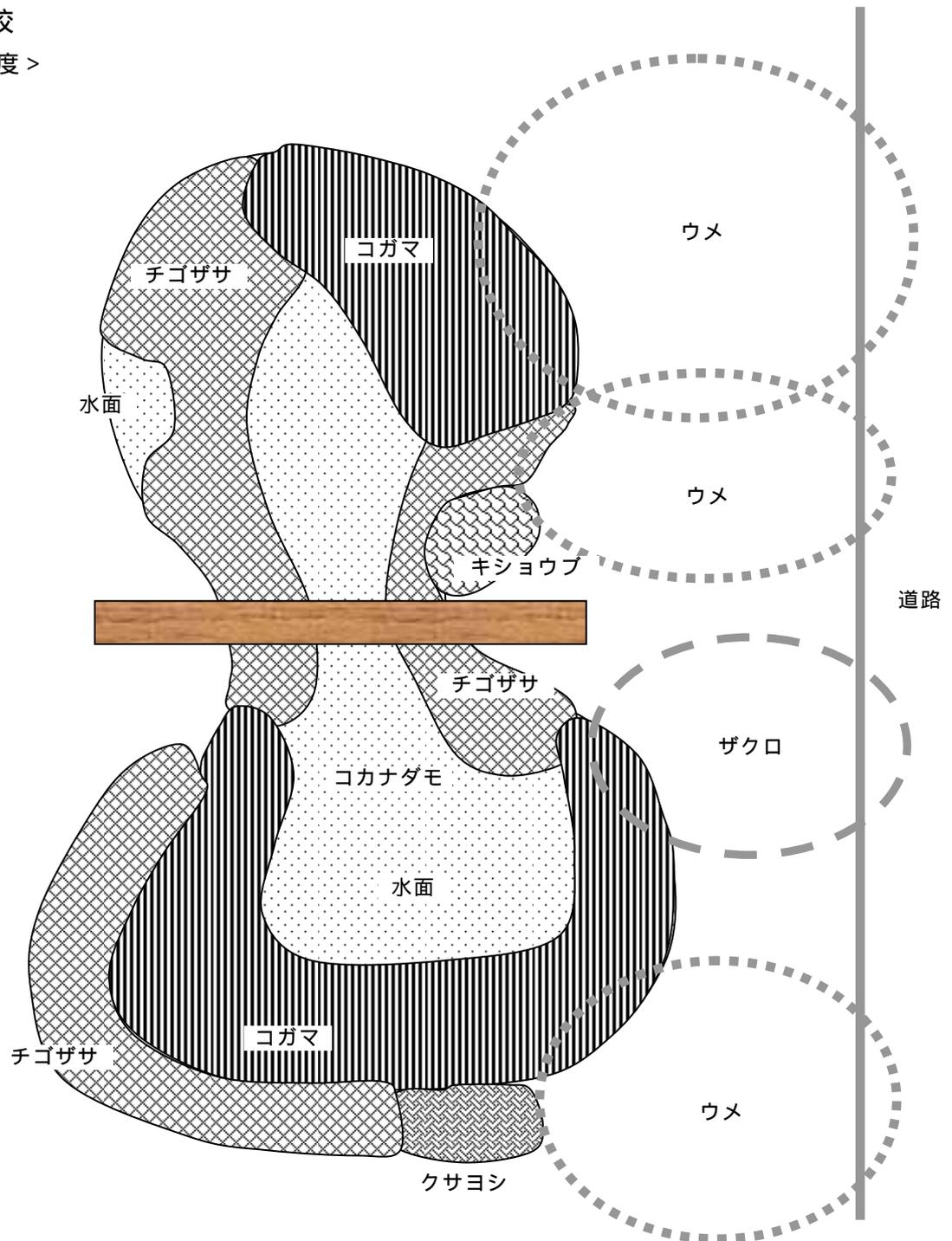


中央部の橋周辺には水域が確認され、水質は透明度も高い。サンカクイ、コガマ、チゴザサ、セリが繁茂している。



チゴザサを除去すると透明な水域に多くのメダカが確認でき、良好な水環境は確保されている。

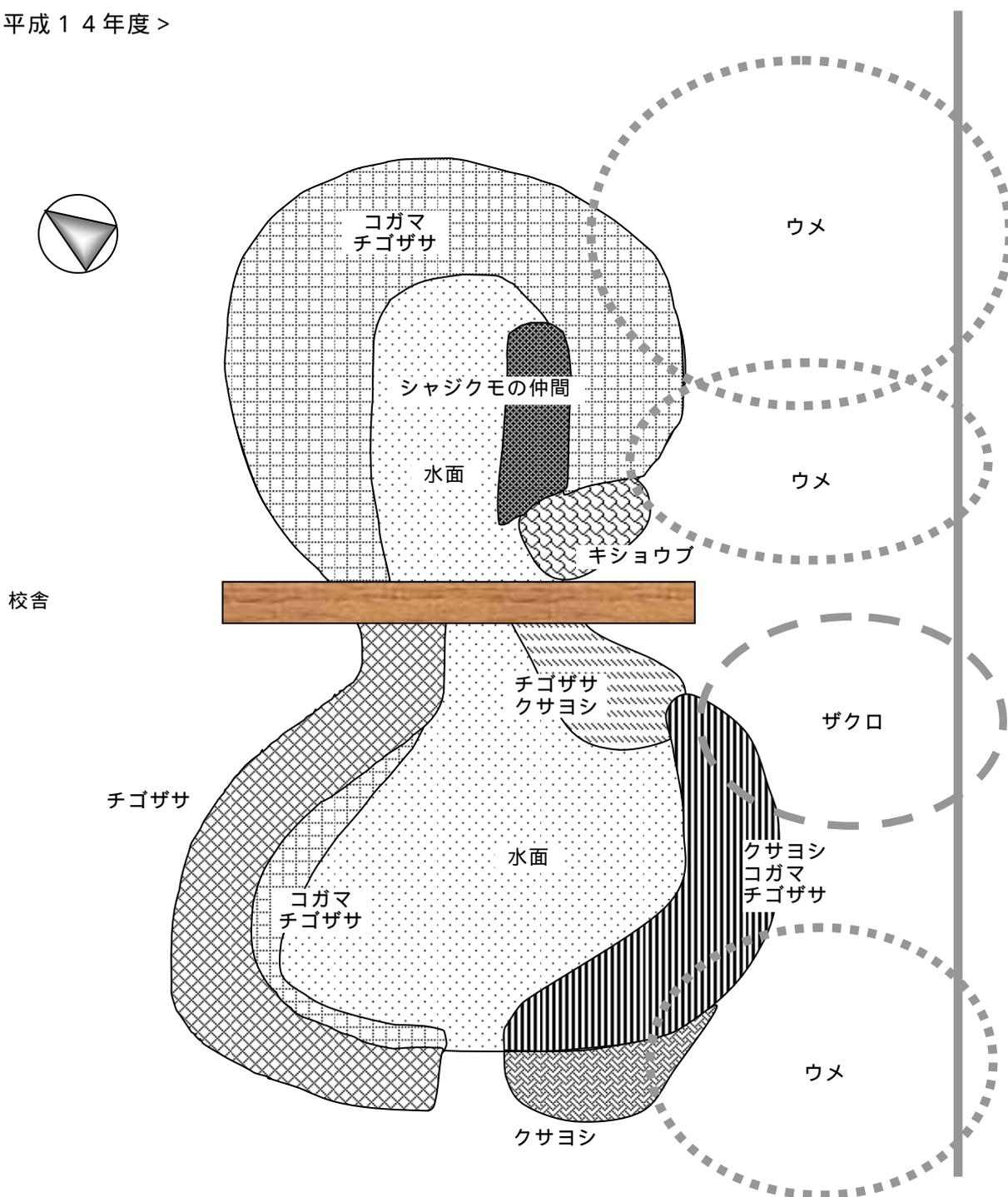
宮前小学校
<平成13年度>



水際から池の中央部にかけて、コガマ、チゴザサ、クサヨシなどが繁茂しているため、水面が見える部分が限られている。また、周囲からの土の流入が激しく、水深が深い部分で20cmほどに浅くなっている。

多様な生きもの環境を維持するためには、水深50cmほどの部分や上空から水面が見えるように繁茂する植物の整理を行う必要がある。

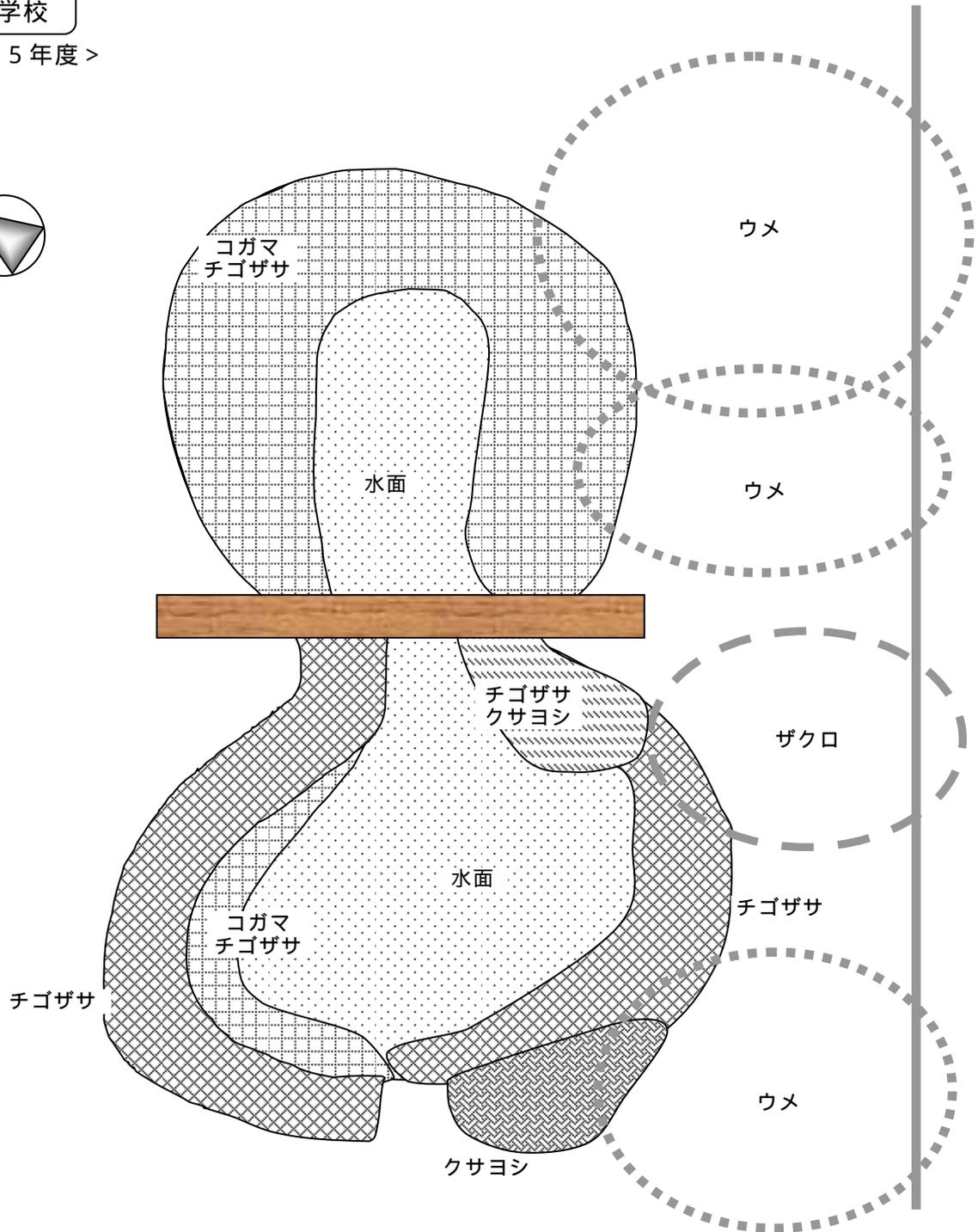
<平成14年度>



水際から池の中央部にかけてコガマ、チゴザサ、クサヨシ等が繁茂している。
除草により昨年よりも水面の見える部分が広がっているが、まだこれらの草本の密度が高い。そのため、セリ、コナギなどのその他の低茎草本が目立たなくなっており、部分的な除草を行い池の中を観察しやすくする必要がある。
水中のコカナダモはほぼ取り除かれ、メダカなどは観察しやすくなっている。



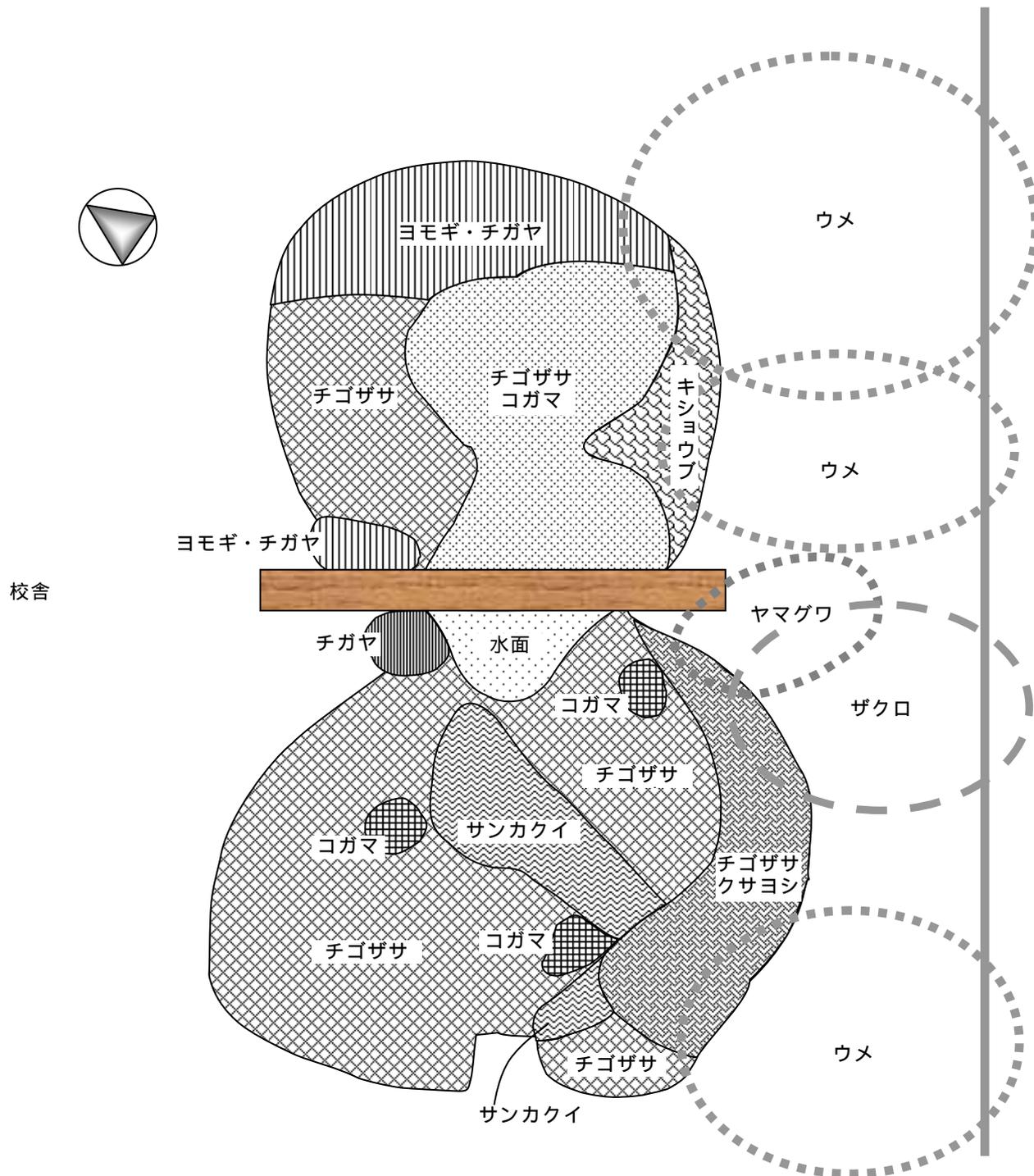
校舎



昨年の草取り作業の成果が草本類の生育状況にそのまま見られている。十分な作業ができた西側の池は、チゴザサの繁茂はみられるものの、水際に草本が適度に生育し水面が確保され、メダカなどは観察しやすくなっている。一方、作業半ばであった東側の池は、水面が西側に比べて半分程度であり、水際が草本に覆われる状態である。ただし、除去を目指したキシウブは抑制され、池への張り出しは押さえられている。

水際の植物は、コガマ、チゴザサ、クサヨシ、サンカクイなどの水生植物が良好に生育しているがセリなどは目立たなくなっている。また、東側の池周囲の草本をもう少し抑制できれば、ある程度安定した環境が得られると予測される。

<平成16年度>



除去を目指したキシヨウブは抑制され、池への張り出しは押さえられている。
水際の植物は、チゴザサが旺盛に繁茂し、そのため他の植物（サンカクイ、セリなど）が被圧され、水面も見えない状況になっていることから、チゴザサに関しては、その大部分を取り除くことが必要である。また、池周辺にはチガヤの生育が目立ち、池の乾燥化がうかがえるため、適宜の給水により水辺環境の維持が必要である。